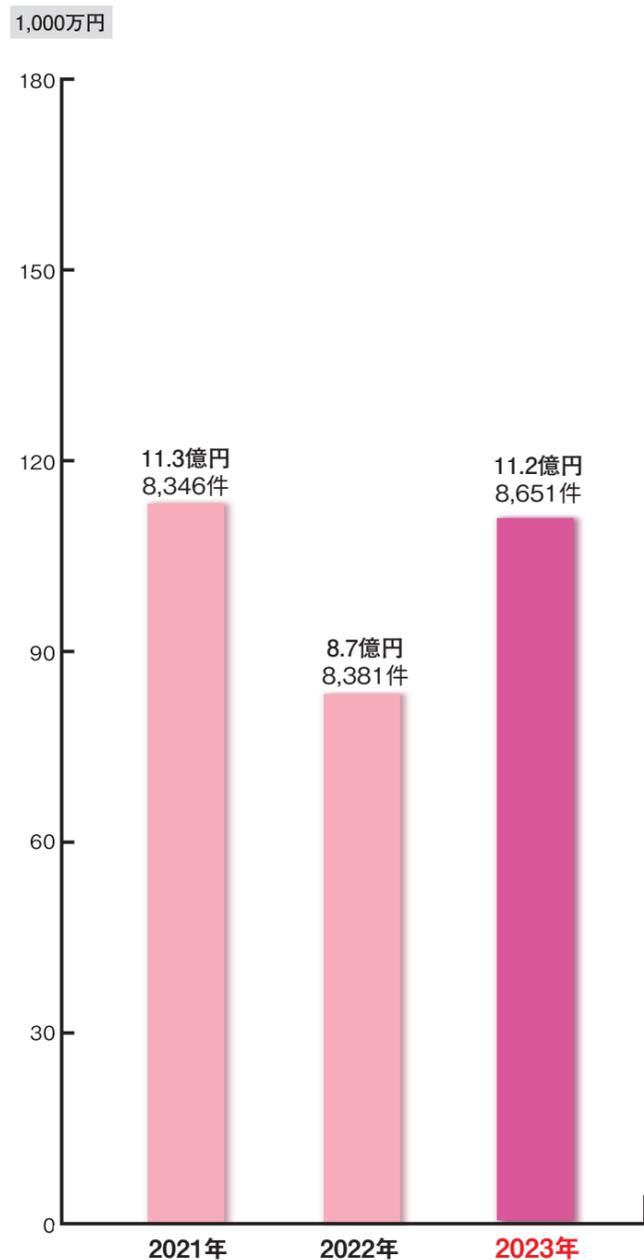
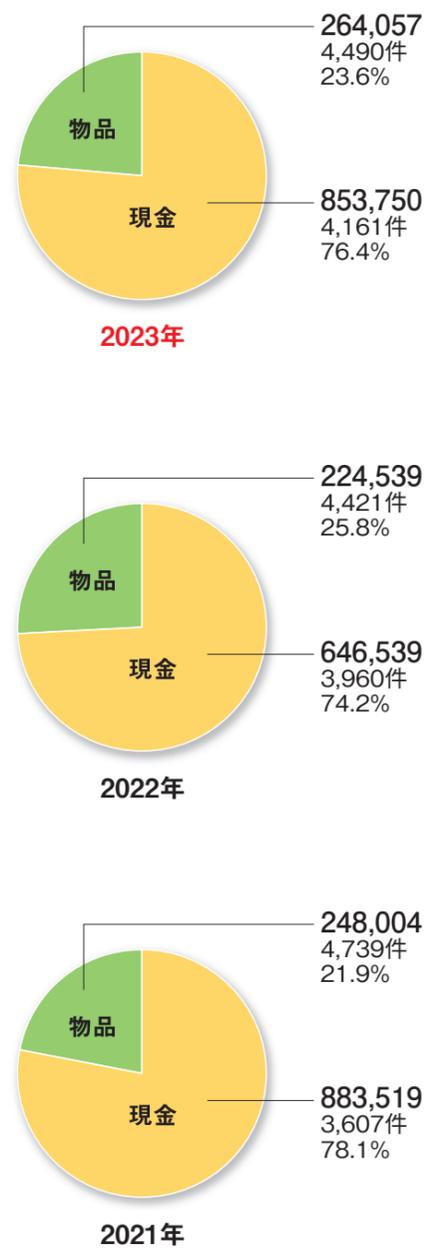


2023年 社会貢献・社会還元の実施状況調査結果

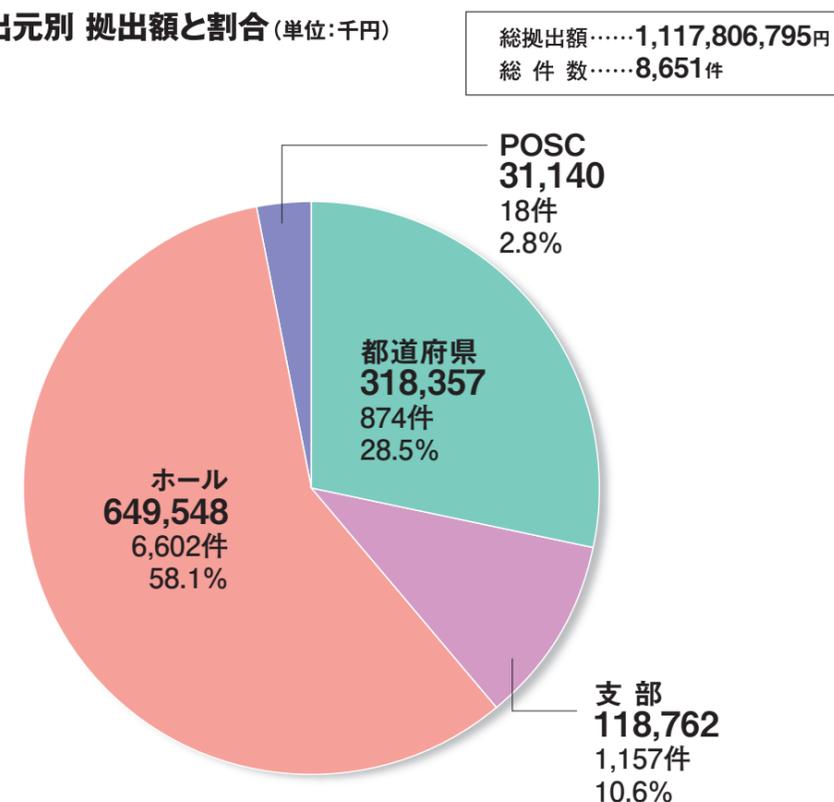
■年別 抛出現額と抛出席数



■年別 現金・物品の割合 (単位:千円)

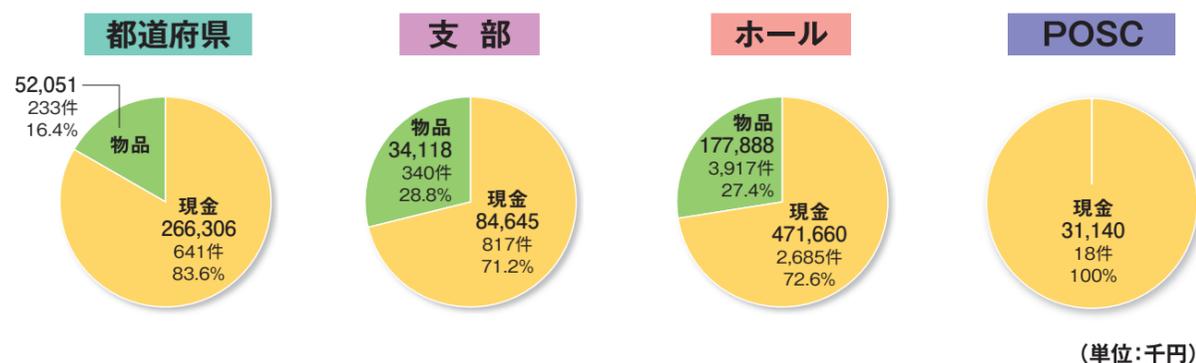


■2023年 抛出現元別 抛出現額と割合 (単位:千円)



■2023年 抛出現元別 現金・物品の割合

※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。



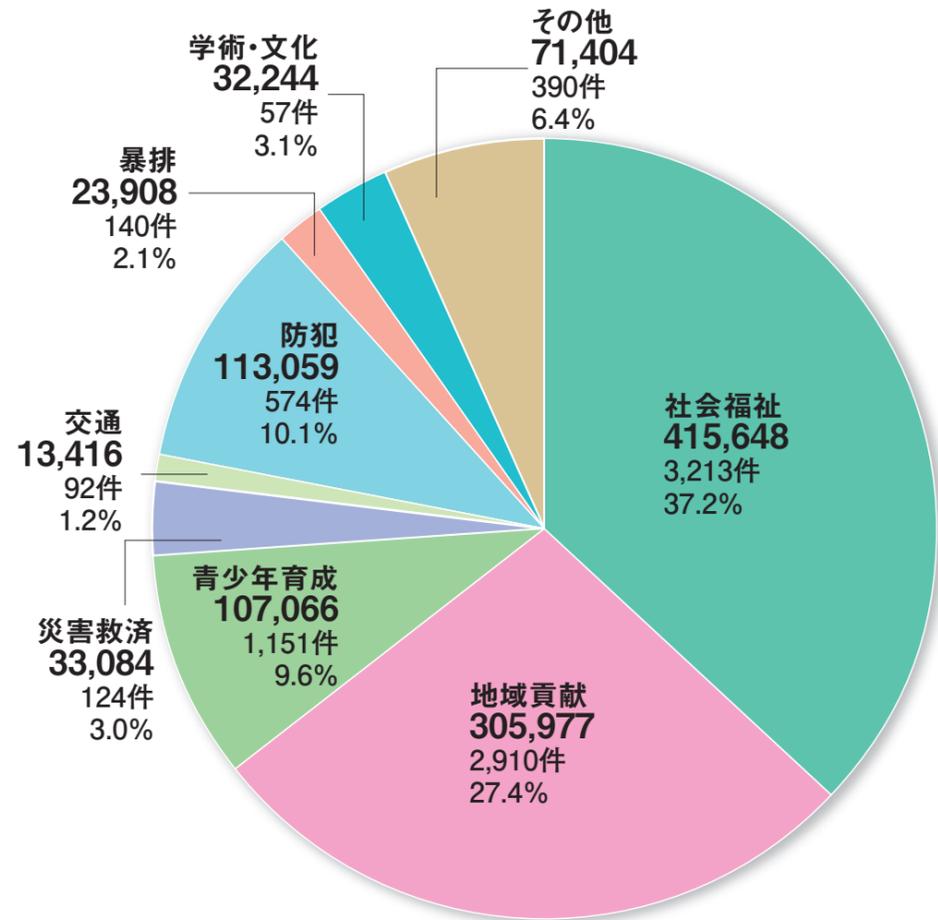
対象期間	2021年	2022年	2023年	
抛出現額 (千円)	1,131,523,150	871,078,247	1,117,806,795	
抛出席数 (件数)	8,346	8,381	8,651	
内訳	現金 (千円)	883,519,019	646,538,952	853,750,218
	現金 (件数)	3,607	3,960	4,161
内訳	物品 (千円)	248,004,131	224,539,295	264,056,577
	物品 (件数)	4,739	4,421	4,490

抛出現元	都道府県	支部	ホール	POSC	
抛出現額 (千円)	318,356,887	118,762,081	649,547,827	31,140,000	
抛出席数 (件数)	874	1,157	6,602	18	
内訳	現金 (千円)	266,306,067	84,644,546	471,659,605	31,140,000
	現金 (件数)	641	817	2,685	18
内訳	物品 (千円)	52,050,820	34,117,535	177,888,222	—
	物品 (件数)	233	340	3,917	—

2023年 社会貢献・社会還元の実施状況調査結果

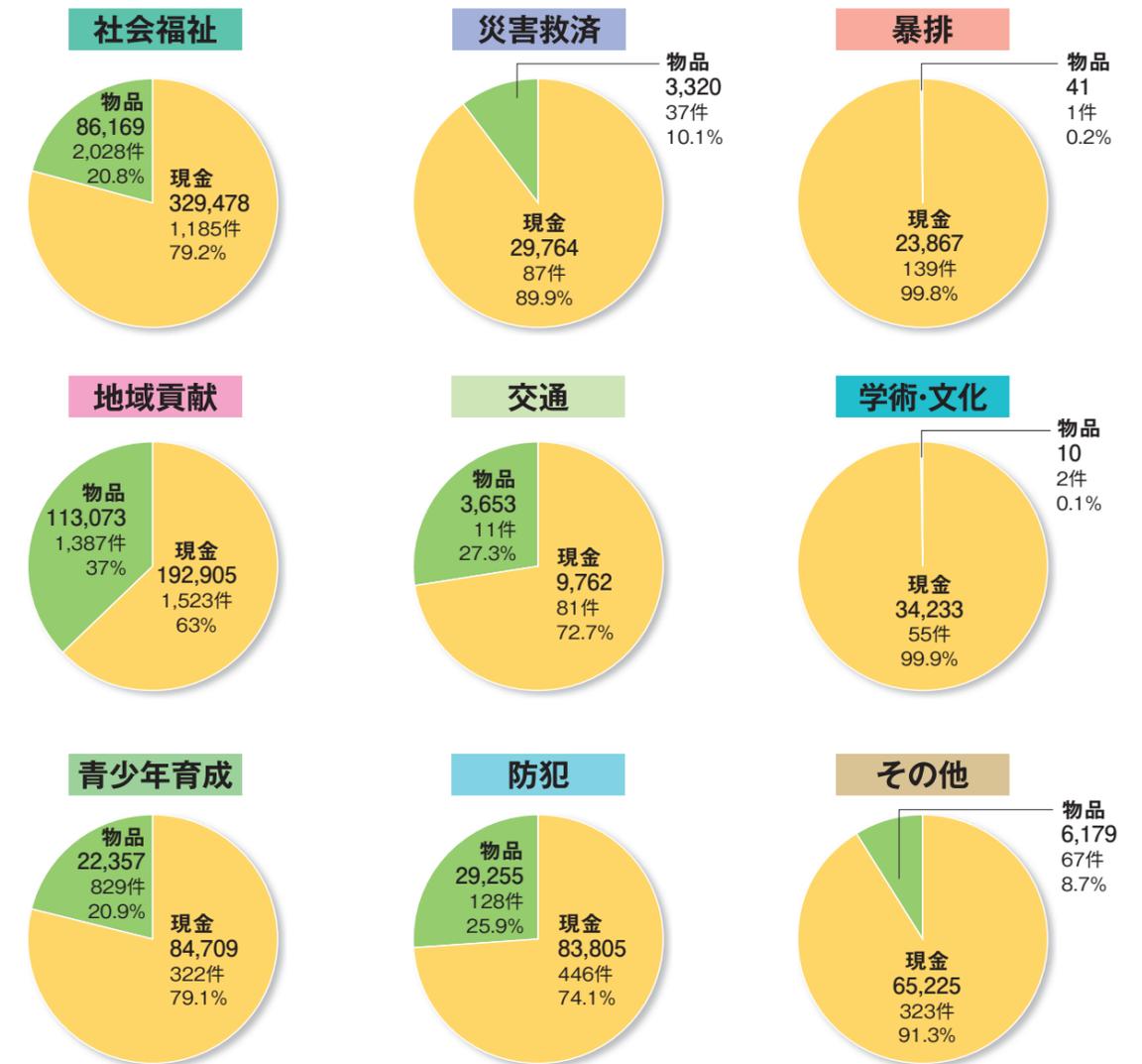
2023年分野別 拠出額と割合 (単位:千円)

総拠出額……1,117,806,795円
総件数……8,651件



2023年分野別 現金・物品の割合 (単位:千円)

現金総額……853,750,218円
件数……4,161件
物品総額……264,056,577円
件数……4,490件



拠出内容	社会福祉	地域貢献	青少年育成	災害救済	
拠出総額 (件数)	415,647,944円 (3,213件)	305,977,399円 (2,910件)	107,066,263円 (1,151件)	33,084,458円 (124件)	
内訳	現金拠出額 (件数)	329,478,647円 (1,185件)	192,904,790円 (1,523件)	84,709,204円 (322件)	29,764,899円 (87件)
	物品拠出額 (件数)	86,169,297円 (2,028件)	113,072,609円 (1,387件)	22,357,059円 (829件)	3,319,559円 (37件)

拠出内容	交通	防犯	暴排	学術・文化	その他	
拠出総額 (件数)	13,415,624円 (92件)	113,059,297円 (574件)	23,907,913円 (140件)	34,244,313円 (57件)	71,403,584円 (390件)	
内訳	現金拠出額 (件数)	9,762,328円 (81件)	83,804,595円 (446件)	23,867,413円 (139件)	34,233,837円 (55件)	65,224,505円 (323件)
	物品拠出額 (件数)	3,653,296円 (11件)	29,254,702円 (128件)	40,500円 (1件)	10,476円 (2件)	6,179,079円 (67件)

2023年 社会貢献・社会還元の実施状況調査結果

2023年 社会貢献・社会還元の実施状況調査結果総評

2023年1月～12月

総額11億1,781万円の拠出

報告：一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構 事務局

新型コロナからの復興へ、 社会貢献活動の重要性が増大

2023年1月から12月までの1年間に展開された社会貢献活動を対象に、都道府県組合、各支部組合及び各組合員ホールからの報告をもとに、社会貢献・社会還元の実施状況調査の結果を取りまとめた。

拠出金総額は、11億1,781万円、件数8,651件であった。内訳は、現金が約8億5,375万円、物品(現金換算)が約2億6,406万円である。前年比で総額では、約2億4,673万円増(前年の約128.3%)、件数は約270件増(同約103.2%)となった。内訳は現金が、約2億0,721万円増(同約132.0%)で、物品が約3,952万円増(同約117.6%)となり前年を大きく上回る事となった。

拠出元別の金額は、総額で、都道府県組合が3億1,836万円、支部組合が1億1,876万円、組合員ホールが6億4,955万円となり、前年比で都道府県は約1,745万円増(前年の105.8%)、支部が約1,151万円増(同110.7%)、組合員ホールが約2億2,243万円増(同152.1%)であった。

拠出内容別の金額および構成比は、その他を除くと多い順で、①社会福祉関連約4億1,565万円(構成比37.2%)、②地域貢献関連約3億0,598万円(同27.4%)、③防犯関連約1億1,306万円(同10.1%)、④青少年育成関連約1億0,707万円(同9.6%)、⑤学術・文化関連約3,424万円(同3.1%)、⑥災害救済関連約3,308万円(同3.0%)、⑦暴排関連約2,391万円(同2.1%)、⑧交通安全関連約1,342万円(同1.2%)となった。

拠出金の前年比の特徴は、「青少年育成関連」への拠出が、約1億2,850万円増(前年の172.4%)、「社会福祉関連」が約1億1,033万円増(同136.1%)、「災害救済関連」が約800万円増(同131.9%)、「学術・文化関連」が約565万円増(同119.8%)、「青少年育成関連」が約1,717万円増(同119.1%)となった。「防犯関連」が約601万円減(同95.0%)、「交通安全関連」が約278万円減(同82.8%)、「暴排関連」が約807万円減(同74.8%)となった。

寄贈先の特徴としては、金額で医療機関が前年の113.9%、子ども食堂が177.9%、自治体が175.0%、社会福祉協議会が158.9%、スポーツイベント144.2%、祭り・イベント実行委員会が140.6%と大きく増加している。医療機関が大きく増加したのは、組合員ホールから1件1億円の寄贈があったことによる。

寄贈された物品の内容で、特徴的なことは、福祉や防犯を目的とした車両は、2,278万円相当12台寄贈され、別途

車両購入費として1,550万円の現金寄贈があり、合わせて3,828万円相当が寄贈された。車いすは380万円相当114台寄贈され、0.4万円の現金寄贈があり、合わせて381万円相当が寄贈された。防犯カメラは913万円相当18台が寄贈され、82万円の現金寄贈があり、合わせて996万円相当が寄贈された。

ボランティア活動等の社会貢献活動では、各都道府県組合から2,553件(前年2,792件)の具体的事例報告が寄せられ、前年から件数が減少しているが、減少の主なものは、「清掃活動」が1,300件から972件に減じたことによる。特徴としては、「清掃活動」「献血活動」「パトロール活動」「災害ボランティア活動」といった奉仕型の貢献活動が全体の55.5%と前年より15.6ポイント減少し、寄付型、参加型は5割以上件数が増加している。内訳では「エコキャップ回収活動」が前年比で441.9%、「新型コロナ対応(奉仕)」が同233.3%、「子ども食堂、フードバンク支援活動」が同224.7%と増加している。コロナ禍で活動が自粛されていた祭り・イベントの企画運営、参加・協力や野球教室等の活動も大幅に増加しており社会活動の再開に合わせて社会貢献活動も盛んに行われるようになった。また、道に迷った高齢者を保護し警察署から感謝状を受受するなど人命救助も行われた。

今後の課題と展望

新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類に移行し、コロナ禍の中で実施できなかったスポーツ大会や多数の人が集まるイベントのボランティアや支援活動が増加してきており、社会がコロナ禍から脱却しようとしているのを見て取れる。地域・社会が正常な営みに戻るためには、組合員ホールの活動が大きく期待されている。

また、貧困に苦しむ層に手を差し伸べる子ども食堂・フードバンクへの支援が2023年も増加しており、引き続き地域全体の連帯感や共感性を高め、社会的弱者への支援も期待される。

災害対策関係では、「防災ボランティア活動」や、自治体や警察・消防などと災害協定を結んだという報告が数多く報告され、今回も台風や豪雨に際しホールの駐車場を開放したという報告が届いている。近年気象災害や地震が頻発しており、こうした活動が今後も期待される。

災害への支援をするとともに、コロナから立ち直ろうとしている地元への貢献も継続して取り組んでいただければお願いしたい。